

# 日・赤・さいたま



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部



2025 夏

vol. **155**



特集

## 埼玉の夏は、 暑い!

地域の防災力を  
高める赤十字

表紙写真:事故予防の重要性を伝えるライフジャケット体験会  
(2024.7.28 さいたま市大宮区)



特集

# 埼玉の夏は、暑い!

## 地域の防災力を高める赤十字



近年、ますます厳しさを増す夏の暑さ。気温の上昇による熱中症などの体調不良はもちろん、台風や突然の大雨といった自然災害のリスクも高まっています。

今回は、気象の専門家へのインタビューを交えながら、赤十字による講習や防災教育、災害対応などの取り組みをご紹介します。

あなた自身や地域の方々が埼玉の夏を無事に乗り切るための備えとして、お役に立てれば幸いです。



お話を伺ったのは…

熊谷地方気象台

防災管理官 加茂様 (写真左)、

リスクコミュニケーション推進官 勾坂様 (写真中央)、

要配慮者対策係長 山城様 (写真右)

### まずは熊谷地方気象台のことを 教えてください!

熊谷地方気象台は明治29年に設置されて以降、ここ熊谷の同じ場所で観測を続けている施設です。平成30年に記録された日本最高気温の41.1℃もこの機器で観測されたんですよ。



あついぞ! 熊谷  
©熊谷市



## 楽しい夏を

## 悲しい思い出にしないために

## —今年の夏も暑いのでしょうか。

気象庁では3か月（7～9月）予報を発表していますが、埼玉県は平年よりも暑くなると予想しています。昨年はほぼ年間を通じて暖かい空気に覆われたため記録的な暑さとなりました。例えば、熊谷市では年間の熱帯夜（最低気温が25度を下回らない日）の日数が過去最多の52日を記録するなど、このところ暑い日が多くなっています。

## —そうするとどのようなリスクが考えられますか。

一番は熱中症ですね。日中はもちろんですが、夜間に熱中症になってしまう事例も多く報告されています。エアコンをしっかりと使うなどしてケアしないとリスクが非常に高くなります。個人で気を付けることももちろんですが、地域の中でお互いに声がけして常に意識することも大切です。

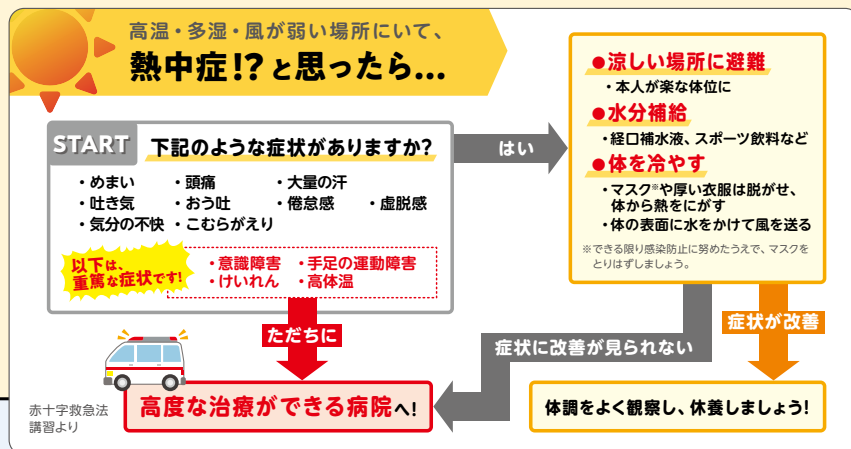
## \\ 日赤の 熱中症予防 //

熱中症は、高温多湿や風が弱い環境などで体温調整がうまくできず、水分や塩分のバランスが崩れて起こる障害です。**立ちくらみや倦怠感**などが初期症状で、重症になると**意識障害**なども起こります。**予防をすれば防ぐことが可能**です。

日赤では、救急法講習で予防や対処法についてお伝えしています。



ハートラちゃん実践！  
熱中症予防のポイント  
<https://www.youtube.com/watch?v=gxsJmv99FPg>



## —日中も暑い日が増えましたか。

昨年の熊谷市のデータでは真夏日（最高気温が30度以上）が94日、猛暑日（同35度以上）が46日とそれぞれ過去最多です。**危険な暑さが予想される日には環境省と共同で熱中症警戒アラートを発表していますので、情報を確認して難を避けていただきたいです。**



## —暑い日が続くと影響が色々出ますね。

長期的に見ると気温は徐々に高くなっています（右ページ図1参照）。また、短時間に集中的に降る雨も増加傾向にあり（同図2参照）、こうした局地的大雨などが発生する頻度が高くなると予想されています。

## —急な大雨は怖いですね。

日常生活はもちろん、レジャー先などでも気を付けなくてははいけません。道路の冠水や河川の急な増水、雷などによる不幸な事故なども発生しています。そんな時に活用できるものとして、例えば気象庁では『雨雲の動き』というサイト（<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>）を公開しています。このサイトでは雨や雷の状況などを地図上に1時間後の予測まで含めて確認できるので、外出先など土地勘のない場所でも判断の参考としてください。

## \\ 日赤の 水の事故防止 //

埼玉県は県土に占める河川の割合が3.9%と日本で2番目に多い県です。河川などで水遊びをするご家庭も多いと思いますが、水のある場所には危険が伴うため注意が必要です。そのため、ライフジャケットの着用や、気象・水面の変化への注意が大切です。上流域で局地的な雨が降ることにより急激に増水し、それまで安全だった場所が危険になることもあります。

浮いて助けを待つ技術「ういてまて」を学ぶ講習を小学校などで行っています。



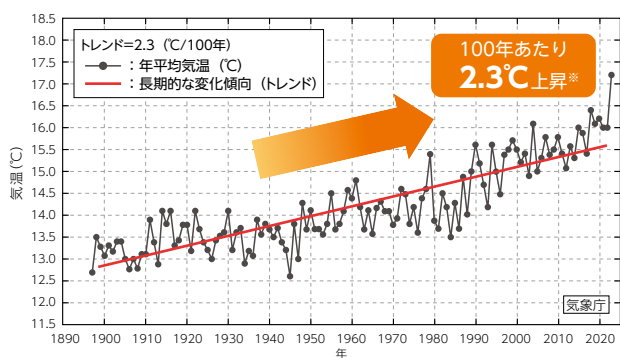
命を守る「ういてまて」。埼玉県支部では実際の河川でも講習を実施しています。



水の事故から大切ないのちを守るために、みんなにできること  
<https://www.youtube.com/watch?v=fxq7LCK-YTo>



【図1】熊谷の年平均気温

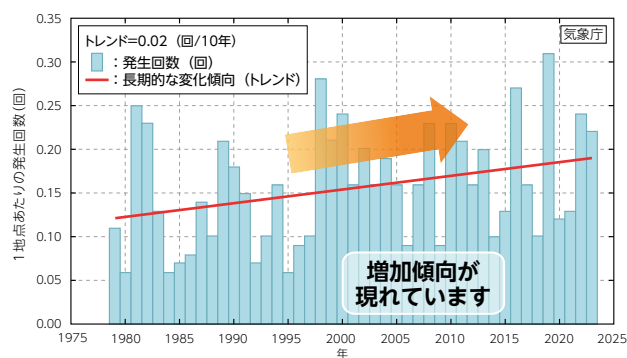


※上のグラフのデータから算出した100年あたりの平均的な上昇率です。

最新の変化傾向は、A-PLAT「気象観測データの長期変化の傾向」をご覧ください。

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/data/jma-obs/index.html>

【図2】関東甲信地方の1時間降水量50mm以上の回数



A-PLAT



## 事前の備え、早めの備えが より大切に

— 台風なども増えているのですか。

台風の発生数や上陸数は過去と比べて増えていません。

一方、『今後は日本付近で台風強度が強まり、降水も増加する』という最新の長期的な予測も出されています。日本付近でも勢力が弱まらず、これまでよりも強い風雨の影響を受けることが考えられ、落雷やひょう、竜巻などの激しい気象現象が増加する可能性もあります。つまり『これまでの想定と異なる強い台風による被害』が懸念されるということなのです。

とはいえ、予測できるという点について

は変わりませんので、地域の避難場所の確認や防災グッズの準備、周囲との声かけなど、早め早めに身を守るための行動をとるよう心がけていただきたいと思います。

今までどおりで大丈夫、とつい思いがちですが、これからも大丈夫だとはかぎらないということを忘れないでいただきたいと思います。

## \\ 日赤のそなえ //

日本赤十字社埼玉県支部では、近年の線状降水帯の発生頻度が高まっていることなどを受け、被災の確率が高い場合、市町村からの救援物資の搬送要請を発災前に受け付けるようになりました。また、水害による避難所開設が予測される状況になった場合も、市町村は事前に日赤へ申請。少しでも早く被災した方が安心していただけるよう、救援物資をお届けできることになりました。

令和元年  
東日本台風  
災害での  
日赤の活動



避難所へ救援物資をお届け(坂戸市)



冠水した病院から患者さんを搬送(長野県)

『暑い』は様々な“災害”を引き起こします。令和6年度は熱中症で救急搬送された方が全国で約10万人。120人もの方が亡くなっています。また、水のレジャーでの事故は後を絶たず、洪水被害は頻発化・激甚化する傾向にあり、今後はより悪化する予測です。

日本赤十字社では、「自助」として自らが知識や技術、意識の向上に努めるだけでなく、「共助」として地域のリーダーを育て、地域で助け合うことができるよう、講習事業や防災教育事業を推進しています。そして、いざという時には少しでも早く災害救護活動に駆けつけます。

夏の暑さにより苦しむ人を1人でも多く減らすことができるよう、皆さまのご協力もどうぞよろしくお願いいたします。



日本赤十字社の赤十字防災セミナーのご紹介です。  
<https://www.jrc.or.jp/saigai/about/seminar/>



活動には皆さまのご支援が必要です

活動資金への  
ご協力をお願いします。

01

## “その日”に備えて 3日間の救護班要員訓練を実施

日本赤十字社は、災害時に救護班を被災地に派遣して医療救護活動を実施します。過去の災害で培った「災害は常に想像を超えてくる」という経験を踏まえ、いつ・どこで・どのような災害が起きたとしても、迅速・的確かつ円滑に活動ができるよう研修や訓練を行っています。

6月25日(水)から3日間、今年度新たに任命された救護班要員を中心にした86人が、皆野町の「いこいの村ヘリテイジ美の山」において訓練を実施しました。期間中は非常に不安定な天気だった皆野町。2日目は豪雨、3日目は猛暑日という環境でしたが、実災害でもそうした環境になることはあり得ます。参加者は自らの安全にも配慮しながら、その中でできることに精一杯取り組みました。

最終日の総合演習訓練を終えた入職3年目のスタッフ(病院勤務)は「これでやっと日赤の一員になれたような気がします」と、救護活動への思いを新たにしていました。



02

赤十字運動月間に  
親善大使のレディア登場

5月の赤十字運動月間のキックオフイベントを、5月1日(木)にJR浦和駅東口で実施しました。

当日は、昨年7月にパートナーシップ協定を締結したサッカーJリーグ・浦和レッドダイヤモンズ様から、「赤十字親善大使」のレディアも登場。ハートラちゃん、けんけつちゃんとともに、駅前を通行される皆さまに赤十字活動をPRしました。また、同会場で実施した献血には多くの方々にご協力いただくなど、たくさんの温かいエールをいただきました。



03

未来の赤十字運動を担う  
県内の高校生集合!

5月11日(日)、令和7年度の青少年赤十字(JRC)高校生協議会がスタートしました。当初は緊張した様子も見受けられましたが、最初の行事である総会・歓迎会が進むにつれて次第に笑顔が増え、参加した生徒からは「赤十字が大切にしている態度目標『気づき、考え、実行する』を楽しく学ぶことができました!今後の学校生活に活かします!」といった前向きな声が多く寄せられました。

高校生たちの活動を支部公式SNSなどを通じて発信していきますので、これからもご注目ください!

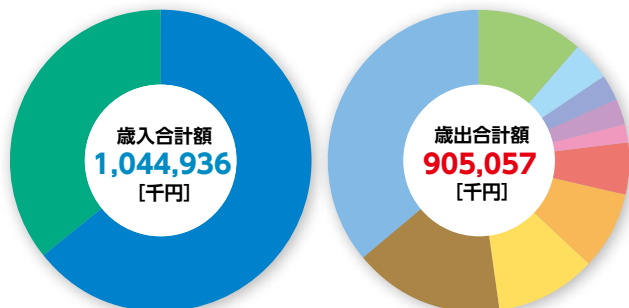


# REPORT

会員の皆さまへご報告

支部はじめ県内の医療施設、社会福祉施設の令和6年度決算および令和7年度予算が評議員会で承認されました。  
今年度も、皆さまから託された思いを胸に活動してまいります。

## 令和6年度決算

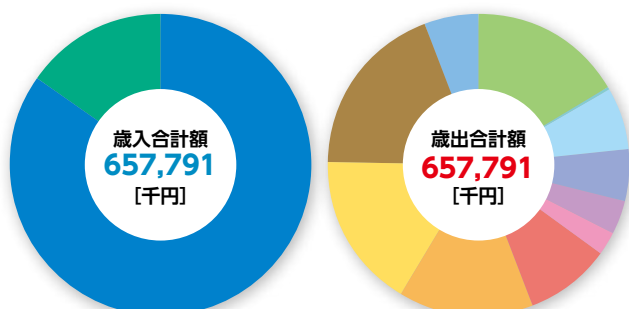


項目	金額 [千円]
1 活動資金収入	672,819
2 事業収入・その他	372,117
<b>歳入合計額</b>	<b>1,044,936</b>

項目	金額 [千円]
1 災害救護活動のため	103,103
2 国際救援活動のため	2,272
3 救急法・幼児安全法等講習普及のため	36,065
4 青少年赤十字活動のため	26,202
5 赤十字ボランティア活動のため	25,813
6 献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	15,952
7 各市区町村での赤十字活動のため	51,145
8 赤十字会員の加入促進や広報活動のため	75,403
9 業務運営管理等のため	96,684
10 県内施設の設備整備や本社が行う事業のため	147,998
11 災害対応や施設整備等にかかる積立てのため	324,420
<b>歳出合計額</b>	<b>905,057</b>

◇差引額[139,879千円]は、次年度に繰り越しました。 ◇赤十字病院および社会福祉施設は施設ごと、血液センターは血液事業全体での特別会計のため、この決算には含まれていません。

## 令和7年度予算



項目	金額 [千円]
1 活動資金収入	558,000
2 事業収入・その他	99,791
<b>歳入合計額</b>	<b>657,791</b>

項目	金額 [千円]
1 災害救護活動のため	107,154
2 国際救援活動のため	1,009
3 救急法・幼児安全法等講習普及のため	44,206
4 青少年赤十字活動のため	35,357
5 赤十字ボランティア活動のため	24,091
6 献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	16,694
7 各市区町村での赤十字活動のため	58,500
8 赤十字会員の加入促進や広報活動のため	94,684
9 業務運営管理等のため	117,054
10 県内施設の設備整備や本社が行う事業のため	122,914
11 災害対応や施設整備等にかかる積立てのため	36,128
<b>歳出合計額</b>	<b>657,791</b>

## PRESENT プレゼント

応募者の中から抽選で5名様に！

ハトラちゃんハンドタオル



ご意見  
お聞かせください！



### プレゼント応募方法

WEBフォームからご応募ください。  
<https://forms.office.com/r/QpWNVp6GdL>

応募締切 8月31日(日)



当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報は、プレゼントの発送およびご連絡にのみ使用いたします。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで、当支部が行う広報活動に活用させていただく場合があります。応募にかかる通信料はご負担ください。

## いろいろな形での寄付方法のご案内

### 遺贈・相続財産寄付

故人の「財産を社会のために役立てたい」という思いを、災害などで苦しむ人々を救う活動に繋げます。(税制上の優遇措置があります)



### 赤十字支援型自動販売機

飲料メーカーの売り上げの一部が赤十字の活動資金になります。



### クレジットカードや金融機関の口座振替で寄付

毎年もしくは毎月手軽に、ご寄付いただけます。



赤十字活動の"今"伝えます！ 公式SNS運用中！







この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

(ご協力いただいた皆様へ)  
赤十字事業へのご支援に心より感謝いたします。資金の有効活用と事務的費用の節約のため、郵便局からの受領証を領収書にかえさせていただきます。

ご理解の程お願いいたします。  
なお、ご協力いただきました金額により税制上の優遇措置(免税)も適用されますので、必要な場合は、通信欄の該当項目に○を付し、当支部までお申し出ください。

(照会先)  
日本赤十字社埼玉県支部振興課  
TEL 048-789-7117

ご注意  
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

※埼玉県内の「A」からお振込みの場合、以下の事項についてご留意ください。  
私は、「振込規定」の各条項を承諾のうえ、振込を依頼します。  
また、本依頼書提出後、当組合が振込の依頼を承諾し、振込代り金等を受領した時に成立する旨、丁承します。(振込規定3(1)参照)

※埼玉りそな銀行からお振込みの場合、以下の事項についてご留意ください。  
私は、「振込規定」の各条項を承諾のうえ、振込を依頼します。